

駒千代の丘

笑顔と意欲 チーム岡中



岡本中学校だより

令和4年 11月15日(火)

11月号



立冬が過ぎ、朝晩の冷え込みが厳しくなってきました。爽やかな秋晴れの日が続き、箱根の山々も彩が鮮やかになり、目を楽しませてくれています。

さて、10月にやや収束を見せた新型コロナウイルスですが、県西地区では再び陽性者が増えているようで、再拡大しないか非常に心配です。引き続き感染防止対策に努めてまいります。

3年生は、これから進路決定に向けて学習に集中する時期を迎えます。1・2年生の第3回定期テストは、12月1・2日の2日間です。進路の実現に向け、努力を重ねていきましょう。

南足柄市学びづくり研究&校内研究の取組

岡本中学校の研究テーマは、「主体的に学習に取り組む態度の育成を図る授業の工夫・改善～生徒の学習意欲を高める教材研究を通して～」です。教職員が互いに目指す子ども像を共有すること、授業のねらいを明確にすること、そのために「何をどのように学ばせるか」を深く追究することを大切にしながら、質の高い授業づくりに向けて、全教職員で日々、チャレンジしています。



学び合い皆議の様子



道徳研究発表会の様子

<南足柄市立学校教職員研究発表大会>

11月9日に開催された研究発表大会で、
教諭、
教諭、
総括教諭が、本校の研究の取組を発表しました。今年度は、全教員が①ICT機器の活用 ②問いや課題の設定の工夫 ③ふり返りの充実 のいずれかを個人の研究テーマに設定し、お互いの授業を見合う研究授業を全員が公開することに取り組んでいます。また、今年度から毎月の職員会議の後に各教員の取組を共有する「学び合い皆議(かいぎ)」の時間を設定しました。「皆議」とは「気軽に困ったこと

などを、皆で質問し合える会議」という意味で、タブレットの新しい使い方を共有したり、若手教員がベテラン教員の匠の技を学んだりするなど、互いに刺激し合える場となりました。このような発表内容は、他校からも大きな評価をいただくことができました。

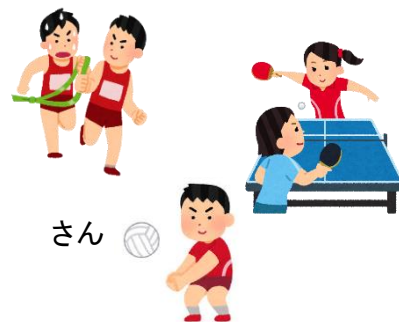
<市教育研究会道徳部会・初任者研修会>

11月7日、2年C組で道徳の授業研究会が行われました。授業者は 総括教諭と 教諭です。当日は、市内各小中学校の道徳教育推進教師と初任者の先生が参観されました。日頃の 教諭の丁寧な学級経営をベースに、 総括教諭と生徒との信頼に基づいた、深い学びのある授業と評価されました。



岡中生 秋の活躍 岡中生の活躍です。

- 足柄上・南中学校総合体育大会 第44回駅伝競走男子の部
第4区 区間賞 記録8分53秒 さん
第6区 区間賞 記録8分39秒 さん
- 足柄上・南中学校卓球新人大会 女子団体の部 準優勝
- 足柄上・南中学校卓球新人大会 女子新人の部 第3位
- 足柄上・南中学校バレーボール新人大会 男子の部 優勝
- 県西ブロック中学校バレーボール新人大会 男子の部 優勝



—南足柄市市制施行 50 周年記念事業—

「万葉の里・南足柄 短歌大会」

- 最優秀賞 さん（2A）
「猛暑日に 友と流した 排球の 玉の汗まで 光る思い出」
- 〈特選〉市長賞 さん（2C）
「狩川の きれいな水の みなもとは みどり豊かな 水源のもり」

「みなみあしがら俳句コンテスト」

- 南足柄市文化会館館長賞 さん（3B）
「暑き日の 人工芝と君の声」

最優秀賞を受賞された さんの短歌は、足柄万葉公園に歌碑が建てられます。お立ち寄りの際はぜひ御覧ください。

PTA美化作業【11月5日（土）】



晴天の爽やかな秋空の下、40名ほどの保護者の方にご協力をいただき、PTA美化作業を行いました。当初は9月4日（日）の市防災訓練のあとに生徒と一緒に実施する予定でしたが、新型コロナウイルス対応により延期となりました。今年度、PTA会費で草刈り機、高枝バサミ、ブロワーなどを購入していただいたおかげで、作業がとても効率よく進みました。



「感動・勇気をありがとう！！」

PTA 本部役員の皆様から、文化活動発表会の合唱コンクールについて、生徒にメッセージをいただきました。

「合唱コンクールを拝見させていただきました。皆さんにとっては、初めての発表会だったと思います。特に3年生は、最初で最後の発表会でしたね。今までやりたいことがたくさんあったと思います。しかし、新型コロナウイルスのため、様々な行事が中止・縮小になって思う存分にできなかった事に対し、悲しかったり、悔しかったりしたことだと思います。（略）何とかこの発表会ができたことにうれしく思います。そして、3年生にとって次の大きなイベントは卒業式になります。残り少ない中学校生活を悔いのないよう過ごしてください。1・2年生の皆さんは、今後の学校行事が少しでもできるよう、皆さんで協力してください。そして、また、この感動・勇気を私たち大人に与えてもらえれば良いと思います。（略）子ども達にとって、貴重な思い出になったことでしょう。感動・勇気をありがとう！！」



【校長室の窓から】

市内全教職員が参加する南足柄市立学校教職員研究発表大会において、日本ペップトーク普及協会代表理事である岩崎 由純氏の講演「スポーツ現場で使われるペップトークとは」を拝聴する機会をいただきました。「ペップトーク (PEP TALK)」とは「前向きな背中の一押し=挑戦を応援する声かけ」とのことです。2019年ワールドカップラグビーのアイランド戦の試合前にヘッドコーチが選手にかけた言葉「誰も勝つとは思っていない。誰も接戦になると思っていない。僕たちはどれだけ頑張ってきたか、どれだけ犠牲を払ってきたか知っている。皆は準備できていると分かっている。仲間を信じて、自分を信じて！さあ、行こう！ワンチーム！」。何と心を揺さぶる言葉でしょうか。

私も長いことバスケット部の顧問をしていました。「走れ！負けるな！頑張ればできる！」。叱咤激励をしてきたつもりですが、引退をかけた試合の前日、「先生、明日は自分たち全力で戦いますから、褒めちぎってください」とキャプテンに言われて愕然としたことが忘れられません。「選手がスポーツの技や力を磨くように、指導者は言葉の力を磨くのだ！」と岩崎氏。子どもたちの背中をそっと押すことができるような大人になりたいと決意した一日でした。